

# 杉谷昭子 ピアノリサイタル

## ～ アラウ最後の弟子～

- シューマン=リスト: 献呈
- ブルクミュラー: 『18の練習曲 op109』より「ゴンドリエの歌」「空気の精」
- メンデルスゾーン: 『無言歌集 op30』より「ヴェニスの舟歌」
- ショパン: ワルツ op64=1 「子犬」
- ショパン: 幻想ポロネーズ op61
- ヴァヴィロフ: カッチーニのアヴェ・マリア
- ジャゾット: アルビノーニのアダージョ
- ブラームス: 3つの間奏曲 op117-1



クラウディオ・アラウ氏と1987年2月西独シューマン協会にて

チリから来た少年、クラウディオ・アラウがドイツで行ったコンサートに対して、人々は「どんなドイツ人よりドイツ的だ!」と言って驚嘆した。そのアラウの魂が日本から来た一人の女性に託された。その女性こそ日本人としてアラウ最後の弟子となった杉谷昭子である。こうして音色、思索性、芸風といったアラウの魂が杉谷昭子に受け継がれた。今、杉谷昭子は師であるアラウのドイツ的な魂を更にヨーロッパ的な魂へと開花させたのである。

### プロフィール

矢田映子、井口秋子に師事。東京芸術大学卒業後、ケルン音大大学院の演奏家国家試験を最優秀で合格、卒業。数々の国際コンクールに入賞。ゲルバー、ワイセンベルク、アラウに師事。37年間にわたるドイツ滞在の間、世界の著名なオーケストラとの共演や、ベルリン・フィルやウィーン・フィルのトップメンバーから成る弦楽四重奏団等と歴史的な名ホールで定期演奏会等に登場。

ディスコグラフィも多く、女流で世界初の「ブラームス: ピアノ独奏曲全集」や「ベートーヴェン: ピアノ協奏曲全集」をベルリン交響楽団とベルリンにて録音。オランダのレーベルでリリース。近年では「ベートーヴェン: ピアノソナタ全集」を完成させると共に演奏活動40周年を迎え、これを記念に「ベートーヴェン: ディアバリ変奏曲」と「シューベルト: ピアノ五重奏曲《鱈》」をリリース。多くが『レコード芸術』誌で「特選」となる。

1994年よりドイツでの「クララ・シューマン国際ピアノコンクール」の審査を通じてマルタ・アルゲリッチと親交が深まり多大の影響を受けている。2010年「ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan」を創設。20世紀の巨匠の一人、クラウディオ・アラウ最後の弟子として国内はもとより国際的にも高く評価されている。



2017年6月4日(日) 15:00 開演  
砥部町文化会館 ふれあいホール  
入場料 無料

○11:30~14:30は教室発表会を開催しますので都合により若干リサイタル開始が遅れる場合がございます。

主催 尾田ピアノ教室  
お問合せ 090-6288-4976(尾田)

